

日本海水学会「環境・生物資源研究会」

平成 27 年度研究会セミナー開催のご案内

海は、地球上に住む生き物にとって、かけがえのない場所であり、そこから得られる水産物や鉱物等の各種資源は、我々に様々な恵みを与えてきました。一方で、海をキーとして展開されている(生態系から企業間の連携関係に至る)広義のエコシステムは、適切な陸域とのつながりが途切れると潰れてしまう脆弱さをも秘めています。

人は長年の営みを通じて、自然環境に種々の影響を及ぼしてきました。その一つに森林に対する酸性雨・霧の影響があります。この種の問題は 1950 年頃から精力的に研究がなされ、日本でも、1990 年代には生態系への影響を含めた調査がなされています。しかし未だに根本的な問題解決に至っていない、古くて新しい問題です。そこで今回は、大気汚染が森林の衰退に及ぼす影響について、実際の研究に基づいたお話をいただきます。

また、海に眼を転じた場合、基礎生産を支えるとともに、生き物のゆりかご的な場として重要な藻場が縮小したり、消滅したりしている現状があります。平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、東北地域太平洋岸を中心に多大な被害を与え、沿岸域の藻場にも種々の影響を及ぼしています。藻場の重要性はかなり以前より指摘され、その回復・再生事業は各地で幾度となく行われてきました。その成果を踏まえたうえで、沿岸域の藻場を中心とした生態系の再生活動に係わるお話を頂きます。

これまで、研究会では、森と海のとつながりに注目した有機・無機成分の移動、生物を通じた環境評価や環境の再生に係わる研究、生物資源を用いた地域活性化、膜汚損の評価や対策、水産物の安全・安心に係わる研究・調査やこれらに係わる支援活動を行ってきました。将来にわたる海の調和的かつ持続的な利用(豊かで魅力ある海づくり)に向け、本セミナーがお役にたてば幸いです。

日時: 2016 年 3 月 18 日(金曜日) 13:00~15:40 (受付 12:30~13:00)

会場: 千葉工業大学 津田沼キャンパス(千葉県習志野市津田沼 2-17-1)

7 号館 7402 教室

JR 津田沼駅南口より徒歩 1 分

<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/tsudanuma.html>

プログラム

1)開催の挨拶 13:00~13:05

石巻専修大学 角田 出

2)講演1 13:05~14:15

「藻場を中心とした生態系の再生活動」

NPO 法人 環境生態工学研究所 理事 佐々木 久雄氏

3)講演2 14:20~15:30

「大気汚染と森林衰退 -降水の酸性化と酸性沈着物の森林生態系に及ぼす影響-」

神奈川大学教授 井川 学氏

4)閉会の言葉 15:30~15:40

千葉工業大学 矢沢 勇樹

参加費:無料

申込方法:当日、会場に直接お越しください。

問合せ先:日本海水学会 環境生物資源研究会 (e-mail: marine_ecobio@swsj.org)